

## 会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1 - 26	令和元年度第1回区内循環バス運行検討会		
開催日時	令和元年10月15日(火) 午前9時30分から午前10時30分まで			
開催場所	墨田区役所庁舎122会議室			
出席者数	委員12人、事務局3人 【委員】石田 慎悟、貴志 真一郎( )、斎藤 慎太郎( )、岩田 敏之、 上田 浩一、船越 浩司( )、庭野 修、石倉 一郎、森山 育子、 天海 晴彦( )、久井 隆司( )、鹿島田 和宏 ( は代理での出席) 所属等については別紙のとおり 【事務局】観光課長、観光課主査、観光課主任			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	3人
議題	1 バス停留所の新設について 2 北西部ルートの一部変更について			
配付資料	1 令和元年度第1回区内循環バス運行検討会 次第 2 区内循環バス運行検討会 出席者一覧 3 バス停留所の新設及び北西部ルートの一部変更について			
会議概要	1 事務局挨拶及び開催目的の説明 (1) 本検討会について、以下の事項を説明した。 ア 道路運送法に基づく地域公共交通会議であること イ 付属機関の設置に関する条例に基づく付属機関であること ウ 審議会等の会議の公開に関する基準に基づき公開されること エ 20人中出席者12人であり、要綱中の定足数過半数を満たしていること オ 本日の検討事項が、バス停留所の新設 ルートの一部変更についての 2点であること 2 委員の紹介 配布資料2のとおり 二井田委員、吉川委員は当日欠席 3 委員長の選出			

	<p>委員の互選により、産業観光部長の鹿島田和宏氏が委員長に選出された。</p> <p>4 議案説明及び質疑  配布資料3について、事務局より説明。  質疑における委員からの発言要旨は以下の通り。( :委員、 :事務局)  バス業界の課題として運転士不足がある。安定的・安全に運行できる体制を整えるためにも、今回のルート変更に伴うダイヤ改正では、運行ダイヤに余裕を持たせることとした。(循環バス運行事業者)  押上駅で各ルートが結節することによる調整のため、15分、22分、23分という運行間隔となったが、ご容赦願う。(循環バス運行事業者)  区内循環バスのあり方について、観光のあり方と合わせて現在、観光振興プランの見直しに着手したところであるので、今後、皆さんから様々なご意見をいただきたい。  総合運動場でイベントがあるときに、南部から直行できるようにバスが走ってくれれば良い。  (回答)○区内循環バスという形ではなく、イベント主催者や所管部署の方でバスを別途用意するなど、対応は工夫していく。  今回の停留所新設及びルート変更について、交通管理上の支障は特段ない。(交通管理者等)  逆ルートの運行がないと、区の北端地域などは不便である。逆ルートの運行については引き続き検討していただきたい。  (回答)○双方向運行については、予算の関係だけでなく、運転手不足の関係もある。引き続き、検討していく。  今回のルート変更等により、バスの運行補助など区の費用負担は増額するのか。  (回答)○現在9500万円を運行経費等への補助として支出しているが、今回のルート変更による変動がないよう調整をした。  ○この度のルート変更に当たり、事前に各町会等に説明に回ったところ、地域住民としては、時間通りにバスが来ないことが懸念事項となっており、バスが多少減便しても定刻性を重視するという声が多かった。こうした点を踏まえ、今後予算規模を含めてバスのあり方について検討していく。</p> <p>5 議決  バス停留所の新設 ルートの一部変更について、全会一致で承認された。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: center;">- 会議の概要は以上である -</p>
所 管 課	産業観光部観光課観光担当 内線 5 4 8 3